



いずみさの

# 市議会だより

No.168  
2020.2.1



## New Topics

泉佐野市いじめの防止等に関する  
条例制定について 全会一致で可決

## 目次

- ◆議会活動報告 …………… 2～3
- ◆12月定例会の結果報告 …… 4～7
- ◆一般質問 …………… 7～11
- ◆意見書・決議 …………… 12
- ◆ご案内 …………… 12

本会議・委員会をインターネットで配信しています。 [泉佐野市議会](#)

[検索](#)



## 総務産業委員会 視察

11月7日・8日

「バリュー・リノベーションズ・さの」のモデルとなっている北九州市のリノベーション<sup>※</sup>まちづくりの視察と、福岡市にてLINEを活用した情報発信等の取り組み及びFUKUOKA GROWTH NEXTのスタートアップ支援の取り組みを視察しました。どちらも説明を伺うと共に現地を歩いて見学させていただき、非常に充実した視察となりました。



北九州市



福岡市



FUKUOKA GROWTH NEXT

## 厚生文教委員会 視察

10月24日・25日

新潟県三条市と上越市への視察を行いました。

### 三条市

三条っ子発達応援事業とは、三条市の0歳から義務教育終了までの子どもが、持っている力を十分発揮しながら成長できるように、保護者、幼稚園・保育所（園）・認定こども園、小中学校、関係機関、市などが連携して、継続的に子どもと子どもを育成する保護者・家族・支援者を応援していく事業です。



### 上越市

歴史・文化が豊かな特性をもつ旧街道沿いに今も残る町家等では、市の支援を受けて民間が家屋を買い取り、店舗やゲストハウス等の目的にリノベーション<sup>※</sup>を行なう活動がみられます。売却や賃貸により移住者を受け入れる中、地域情報の発信や交流拠点として活用する等、「町家」再生による地域活性化の取り組みが評価されています。



※リノベーション…既存の建物に大規模な改修工事を行い、付加価値を与えること

## 議会による行政評価を市長へ提出

11月5日

市が実施している政策、事務事業等について、有効性、効率性、必要性の観点から評価をしています。

令和元年度は「コミュニティ活動の支援」・「市民活動の参加・参画」・「文化財の保存と活用」・「文化的景観の保護推進」・「歴史文化の保存継承と情報発信」の施策について評価を行い、評価結果を市長に提出しました。



## 関空りんくうまちづくり特別委員会 視察

11月12日

成田市にて成田空港と国の関係性や市財政への影響などを視察し、印西市において物流拠点を中心にまちづくりを広げるグッドマンビジネスパークを視察しました。LCC を使い日帰りで視察を行いました。関空がある市のメリットを活かし、市の発展に役立つ内容を学ぶことができました。



## こども議会報告

11月25日

8月25日に開催したみらい泉佐野こども議会の結果を取りまとめ、市長と教育長に報告しました。市や教育委員会の協力も頂きながら、今後も泉佐野市の子どもたちにより良い体験の機会を作ることが出来るよう話し合いをさせていただきました。



## 議員研修

12月3日

本市の観光大使に委嘱された作家で僧侶でもある家田荘子氏を講師に迎え、「一緒に生きて行きましょう～生きるということ～」をテーマに、議員研修会を開催しました。

虐待やいじめ、ひきこもりなどの問題について、ご自身の体験などを交えながらお話しいただきました。

当日は公募による市民の皆さんも多数傍聴されました。



# 12月定例会議を開催

議案  
第66号

## 泉佐野南部公園の指定管理者の 指定について

可決  
賛成多数

泉佐野南部公園の指定管理者の指定を審議する案件です。指定管理者選定委員会の選考について、総合評価点が低く、委託料が高い事業者に協議して逆転の決定をしていることから、委員会ではその理由を問う質問が多数上がりました。

委員会においては、判断に足る回答が得られていないとし、反対多数で否決されました。しかしながら、本会議においては、その間にそれぞれの議員が検討した結果、賛成多数で可決されました。



議案  
第69号

## 地方独立行政法人りんくう総合医療 センターの第2期中期計画の変更の 認可について

可決  
全会一致

地方独立行政法人りんくう総合医療センターの第2期中期計画について、院内保育所・事務管理棟を来年度にかけて整備する経費および国の要請による100%補助の感染症センターの改修工事費の増加等により、第2期中期計画を変更するものです。

### 変更内容

病院施設、医療機器等整備費	7億700万円増
起債発行額	4億8千500万円増
(増加分起債の償還額)	4億8千500万円)



# 議決結果一覧表

## 全会一致で可決された案件

議案番号	案 件
議案第58号	泉州南消防組合規約の変更について関係市町と協議することについて 泉州南消防組合規約の各市町の経費の負担割合を変更する議案です。
議案第59号	旧慣による公有財産の使用権の廃止について 上瓦屋の通称吉場池とその堤の使用権を廃止する議案です。
議案第60号	財産の処分について 59号議案の場所とテニスコートの市有地売却を公募し、一般競争入札によって決定した事業者に売却することを決定する議案です。
議案第61号	泉佐野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について 地方公務員法改正により必要が生じた、会計年度任用職員の給与、手当、費用弁償について規定するための条例を制定する議案です。
議案第62号	会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例制定について 61号議案制定に伴い、改正を必要とする関係条例の改正を行う議案です。
議案第63号	泉佐野市立かんがい排水施設の指定管理者の指定について 泉佐野市立かんがい排水施設の管理について、指定管理者に指定する議案です。
議案第64号	泉佐野市土砂埋立て等の規制に関する条例制定について 建設残土崩落事故を防止するため、3,000平方メートル未満の土砂埋め立て等を規制する条例を制定する議案です。(3,000平方メートル以上は府条例で規制)
議案第65号	りんくう中央公園の指定管理者の指定について りんくう中央公園の運営管理の指定管理者を指定する議案です。
議案第67号	泉佐野市水道事業の設置等についての条例の一部を改正する条例制定について 下水道事業を特別会計から地方公営企業法の適用に移行するために条例制定する議案です。
議案第68号	泉佐野市立社会福祉センター及び泉佐野市立老人福祉施設の指定管理者の指定について
議案第70号	泉佐野市立児童発達支援センター条例制定について
議案第71号	泉佐野市いじめの防止等に関する条例制定について
議案第72号	泉佐野市営プール条例の一部を改正する条例制定について
議案第73号	泉佐野市指定文化財旧新川家住宅の指定管理者の指定について
議案第75号	令和元年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
議案第76号	令和元年度泉佐野市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
議案第77号	特別職の職員で常勤のものの給与についての条例の一部を改正する条例制定について
議案第79号	職員の給与についての条例等の一部を改正する条例制定について

議案番号	案 件
議案第80号	特別交付税の額に係る審査の申立てについて
議員発議第12号	「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書
議員発議第13号	令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書
議員発議第14号	CSF (豚コレラ) の早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書

議案第69号は4ページをご覧ください。

## 表決が分かれた案件

議案番号	案 件	結果
議案第57号	泉佐野市基金条例の一部を改正する条例制定について 泉佐野市森林環境譲与税基金及び泉佐野市退職手当基金の2つの基金の設置と、泉佐野市公共施設整備基金の名称を泉佐野市公共施設整備等基金に改める議案です。	可決
議案第74号	令和元年度泉佐野市一般会計補正予算(第6号)	可決
議案第78号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等についての条例の一部を改正する条例制定について	可決
議員発議第11号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等についての条例の一部を改正する条例制定について 現在、行われている議員報酬の10%削減の期間を令和2年3月31日から令和4年5月23日まで議員の任期満了日に合わせ期間延長するものです。	否決

議案第66号は4ページをご覧ください。



## 討 論

議案第66号泉佐野南部公園の指定管理者の指定について

### 反対討論 土原議員

実態調査を行ったが、議案に記載の会社の所在地に会社がなかったことなどや、選定委員会の内容について納得できない。

今後の選定委員会のあり方について、事前の実態調査、資料の提供等を要望する。この議案には反対する。

### 賛成討論 西野議員

選定方法については、事業計画書等をもとに書類審査、ならびにプレゼンテーションを実施して選定されている。また、1名の採点が4名の得点差を覆した形となっているが、全委員異議なく同意しており、委員会の決定を尊重し賛成する。

### 反対討論 高道議員

泉佐野南部公園は災害時に市民の生命を守る施設であり、直営とすべき。

選考過程も「不透明」で、決定事業者は、その実態が疑われている。

これでは、公募の最初から問題がある選定と言わざるを得ない。

## 議案の賛否 表決が分かれた案件の賛否一覧です

	公明党				チーム泉佐野創生			自由民主党			日本共産党		大阪維新の会		正道の会・泉新の会		新緑未来	
	大庭 聖一	土原 こずえ	岡田 昌司	辻中 隆議長	野口 新一	向江 英雄	大和屋 貴彦副議長	西野 辰也	長辻 幸治	高橋 圭子	福岡 光秋	高道 一郎	新田 輝彦	日根野谷 和人	辻野 隆成	中村 哲夫	中藤 大助	布田 拓也
議案第57号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第66号	×	×	×	—	○	△	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
議案第74号	○	○	○	—	○	△	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第78号	○	○	○	—	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
議員発議第11号	×	×	×	—	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×

議長は賛否同数のときのみ表決し、議案の可否を決定します。 ○：賛成、×：反対、△：退席

## 一般質問

自由民主党  
泉佐野市会議員団 代表  
高橋 圭子 議員



・泉佐野丘陵緑地の土地利用について  
災害について

### 土地利用の抜本的見直しについて

**Q** 令和二年度大阪府当初予算に対する市町村要望を行った際の一項目に、「泉佐野丘陵緑地における土地利用方針の抜本の見直しについて」があったと思いますが、この問題について今後の見直し等について説明してください。

**A** 丘陵緑地を産業集積用地へ、抜本的に土地利用方針を見直すよう、大阪府に要望したところです。しかしながら、公園利用のための土地取得費用に充てた起債の目的変更により生じる繰上償還の財源確保への見直し、地域のニーズや各種土地利用規制、適切な事業主体の存在などを踏まえる必要があると大阪府より示されています。市ではこれらを踏まえ具体的な検討をしているところです。

### 災害について

**Q** 災害発生状況により避難誘導に際して市の対応は異なると思いますが、いかがでしょうか？

**A** 災害時の対策や避難方針は、「泉佐野市地域防災計画」を作成しており、災害の種類に応じて、具体的な防災、減災方法をまとめています。避難の仕方については、泉佐野市地域防災計画に基づき、「避難勧告等の判断基準・伝達マニュアル」及び「津波・河川氾濫に対する避難計画」を作成し、地域の地形や特性等を考慮した上で、災害の種類に応じた避難先や具体的な避難経路を定めています。

**Q** 泉佐野市内に、氾濫の可能性がある河川やため池で、危険な箇所はありますか？

**A** 見出川、佐野川、樫井川すべてに氾濫の可能性があります。「もしもの時の防災ガイド」に洪水ハザードマップを記載しています。また、日根野の大池、十二谷・原池が決壊した場合の浸水想定区域等を示した「ため池ハザードマップ」も公表しています。



大阪維新の会  
泉佐野市会議員団 代表  
日根野谷 和人 議員



・効率的な行政運営  
・「バリエーションベシヨンス」の  
ユネスコ  
・りんくう公園の活用  
・教育

## りんくう公園の活用について

**Q** アイスアリーナ、ホテル、SPAが開業したエリアのフロント部分に予定している文化堂はどのような形態に変わりますか？

**A** 屋外文化施設として（仮称）りんくう野外文化音楽堂を今後オープン予定の広大なりんくう芝生公園広場に整備します。

**Q** 同じエリア内に外国人観光客等が乗り継ぎ無しで人気観光地へ行く為のバスターミナルはどのような計画でいつ開業予定でしょうか？

**A** インバウンドを中心とした来訪者を高野山、京都、奈良といった観光地への送迎を計画されています。また、普通車710台の駐車場エリアは、将来的には飲食、物販の店舗を併設することを視野に入れています。

令和元年12月中旬から工事に着手し、令和2年5月に開業予定となっています。



## 学校での携帯電話について

**Q** 現在、小中学校では携帯電話の取り扱い方はどのような決まりが？

**A** 市内の全小中学校では、携帯電話の持込みを「原則禁止」しています。しかしながら、例外的に、一定の理由、事情に限定して、保護者からの申請により、持込みを許可しているケースがあります。

**Q** 生徒が許可された携帯を校内で使用していた時はどう対処する？

**A** 携帯を一旦預かり、保護者に取りに来ていただくというルールを設定を検討しています。

**Q** 一時学校で保管した携帯や登下校時の扱い方については保護者に責任があると考えが見解を？

**A** 登下校時は本来持ち込む理由以外は、鞆の中にして登校下校しなさいというのが基本です。申請に基づき限定的に使用の許可を出すというルールがあり、一義的には保護者の方がルールを守っていただき、子どもにも指導していただくのが第一だと考えます。

新緑未来 代表  
中藤 大助 議員



・買い物弱者  
・マイナンバーカード  
・文化財保護

## 買い物弱者について

**Q** バリアフリー化は進んでいるものの依然、高齢者や障がい者を取り巻く環境には厳しいものを感じています。その一つに「買い物弱者」があります。官民連携を視野に入れた市としての対策について伺います。

**A** 平成26年度から買い物弱者を対象に、食料品など生活必需品の移動販売事業を大阪いずみ市民生活協同組合に委託して実施しています。これは、約1000品目の品揃えをした移動販売車が、予め決められた停留所を週1回巡回し、買い物に困難な方への支援事業として実施しているものです。

令和元年10月の延べ利用者数は547人で、移動販売時には各地域の福祉委員会の協力を得て、安否確認や地域の憩いの場となっています。今後もこうした民間業者の取組みと連携して買い物に困難な方への支援を継続いたします。



## マイナンバーカードについて

**Q** 先ごろの総務省の発表によると、マイナンバー加入率が全国平均で14%にとどまっているとのことですが、本市の加入率は13.3%と聞いていますが、今後の加入促進についてどのような対策を投じていくのかをお伺いします。

**A** マイナンバーカードの取得促進及び交付の円滑化に向け、令和2年2月頃を目前に、2階エレベーター前に3つの臨時窓口を設置し、マイナンバーカードの交付、申請支援、およびマイナポイントを利用するためのマイキーID設定支援を行う予定です。

なお、国において、マイナンバーカードの普及に向けた広報を積極的に進めていくとのことですが、本市も、広報いずみさのやホームページ、ポスター等の掲示を行い、制度の周知を図るとともに、申請支援等マイナンバーカード取得促進に努めます。







- ・2040年に向けた取り組みについて
- ・子育て支援について
- ・就労支援について
- ・窓口業務の改善について
- ・文化財防火対策について

- ・高齢者の安全運転への取組について
- ・リユース品(再利用品)について
- ・いじめ対策について
- ・英語教育について
- ・末広公園及び周辺道路の整備事業について

## 高齢者の安全運転への取組について

**Q** 運転免許証を返納された65歳以上の方に、100名抽選で「さのぼ」10万ポイントを進呈する事業を実施しているが、具体的にその申請者数の推移、抽選に漏れた方への対応と今後の取り組みについては？

**A** 初回の平成29年度は、101名の申請があり、全員に付与しました。平成30年度は158名の申請があり、58名の方が抽選漏れとなりました。この2ケ年は周知が行き届いていない可能性も考慮し、対象期間の再検討、かつ抽選漏れとなった方々の再応募を認め、50名の追加募集を行いました。今年度、第4回目の募集では、317名より申請があり、残念ながら217名の方が抽選漏れとなりました。

今後、抽選漏れとなった方々への対応、公平性、地域経済の活性化等を総合的に勘案しながら対

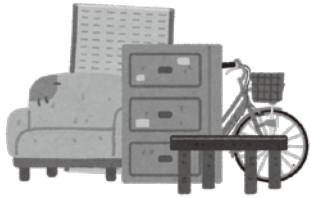


応策を検討いたしますとともに、高齢者の交通事故未然防止を目的として、来年度以降も本事業を継続いたします。

## リユース品(再利用品)について

**Q** 岸和田市では、市民から家庭不用品を回収したうえで、希望者にリユース品を無償譲渡する取り組みを実施している。本市でも同様な取り組みはできないか？

**A** 回収した家具等の再利用品の保管場所の確保、回収に携わる体制の整備や車両の確保が必要となります。また、引き取り手がない場合は、岸和田市では市の負担での処分と伺っておりますが、粗大ごみとして有料で処分する方とのバランスの問題も考える必要があります。



## いじめ対策について

**Q** 大阪府では、いじめなど様々な悩みを、LINEを通して幅広く受け止める相談体制を実施してい

る。本市の児童生徒へ、「LINEを活用した教育相談」の積極的な周知を求めたい。

**A** LINEを活用した教育相談は大阪府の事業ですが、今年度は6月と11月の2回、全小中学校にその内容を周知しているところです。現状では年間2回の限られた期間での相談対応となっていることなど、様々な課題があるとお聞きしています。

本市教育委員会は、各学校や教育支援センターでの教育相談体制の充実を図るとともに、大阪府の「LINEを活用した教育相談」の積極的な周知をはじめ、相談窓口の広報および啓発に努めてまいります。



## 末広公園及び周辺道路の整備事業について

**Q** 新規公園駐車を含めた公園整備事業全体のスケジュール及び公園北側の上町末広線の道路拡幅のスケジュールは？ 上町末広線が拡

幅されるまでの間、停止線を移動し、車両の通行をスムーズにする対策はできないか？

**A** 公園整備のスケジュールについては、令和2年度より着工し、令和5年度を事業完了の予定としています。府宮羽倉崎住宅跡地に計画している公園駐車場については、令和3年度以降の供用開始を予定しています。上町末広線の道路拡幅は公園整備と同時期にしたいと考えていますが、調査設計、関係機関との協議に要する期間、工事期間を考慮すると、早くても令和4年度以降となります。また、停止線の位置を現在より手前に誘導するなど、車両の通行をスムーズにする方法を警察、地元町会等と協議しながら進めます。



日本共産党  
泉佐野市会議員団 代表  
高道 一郎 議員



・ふるさと納税にかかわる委託業務について  
・台風21号による家屋改修費支援金について

## ふるさと納税にかかわる委託業務について

**Q** ふるさと応援寄附金事業の「寄附返礼品発送業務」で、約3億円で委託を受けた事業者が「発送業務」を別法人に再委託。再委託先に給料総額の2倍、約6千万円?の「報償金」を支出した。支出が妥当か調査し、報告されたい。

**A** 情報公開的な部分として、どこまで開示できるのかということですが、ここでは申し上げることができませんが、法人さんにもご協力いただきながら、ご指摘いただいた部分については、どういう内訳なのか、ということころは聞かせていただきたいと思います。



## 台風21号による家屋改修費支援金について

**Q** 一昨年の台風21号による家屋の改修費について、費用の半額・

上限10万円を支援する制度の期限が今年3月までとなっている。資材・職人の不足といった社会情勢により遅れている市民も多い。実施期間の延長を求める。

**A** 平成30年10月から受付を開始して以来、令和元年11月までに4,468件、約3億9,800万円の交付決定を行っております。11月の申請件数も200件を上回っており、残り4ヶ月で申請が収束するとは考えにくいように思われます。そこで、3月議会での予算の承認が必要ですが、6ヶ月の延長を行いたいと考えています。これにより実施期間が2年間となり、改修が遅れている市民におかれましても、この延長期間で対応していただけるものと考えています。



正道の会・泉新の会 代表  
辻野 隆成 議員



・市が保有するコスモ計画地について  
・所有者不明の不動産について  
・ひとり親家庭について

## コスモ計画地の利用について

**Q** ごみ焼却施設の候補地として検討しているが、大阪府の所有する丘陵緑地も含めて、産業集積用地へ転換して欲しい旨の要望をしているとのことであるが、隣接している市有地との整合性は図れているのか。

**A** 市有地との整合性は物理的に隣接しているため、造成工事等については、一体的に造成した方が合理的であり、スケールメリットが出るものと考えます。また、それぞれ別のアクセス道路を作ったり、調整池を作るのではなく、全体計画の中で考えていくことも可能になり、さらに、産業集積用地側で、ごみ焼却場で発生する余熱を利用することも考えられます。ごみ焼却施設を一つの工場の土地利用と考えると、産業集積用地との親和性が非常に高いため、引き続き丘陵緑地の土地利用見直しを大阪府に要望していきたくないと考えています。



## 所有者不明の不動産について

**Q** 不動産所有者が亡くなった後、相続がなされず、相続放棄等によりそのまま放置され、やがては老朽危険空家となる。市としてそのような不動産に対処することはできないのか。

**A** 相続人が不存在となった不動産の対処方法は、民法では相続財産管理人によって、家庭裁判所の許可を得た上で、処分することが可能です。本市では、空家所有者がご自身で除去する資金能力がない場合、土地と建物を同時に寄附していただき、市で特定空家を除去する制度を実施しています。

寄附受け制度と相続財産管理人の制度を併用することで、所有者不明の土地と建物を同時に寄附していただき、市において建物を除却後、跡地の活用を考えていくことで、所有者不明の空家、空地問題を解消できると考えています。



チーム泉佐野創生 代表  
向江 英雄 議員



・災害被災者への支援の充実について  
・安心と安全を提供できる学校給食センター建設を  
・公会計財務諸表の地方公共団体比較について  
・ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)の導入について

### 災害時の高齢者・障がい者等 要配慮者への支援について

**Q** 要配慮者の方々は一一般の人に比べ災害による被害を重く受けがちであり、災害からの回復、生活再建も遅くなりがちである。要配慮者支援のさらなる充実が必要と考えるが、市の現状について伺う。

**A** 平成26年8月より「地域の絆づくり登録制度」を開始しました。災害時に他者の支援が無ければ避難できない方に登録を促し、市が名簿を作成、その名簿を個人情報取扱いなどを定めた協定を締結して、自主防災組織などと共有すること、支援体制を構築していこうというものです。登録者は令和元年11月1日現在、2,732人、市内77自主防災組織中40組織と協定を締結し、名簿の共有を図っています。

また、市内の社会福祉法人12法人、18施設と要配慮者を受け入れる福祉避難所に関する協定の締結もおこなっています。



### 安全と安心を提供できる 学校給食について

**Q** 建設以来34年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。安全な食の安定供給はもちろん、従業員の健康確保、修繕費の削減のため、センターの建替えが急務ではないか？

**A** 学校給食センターの建替については、現状では具体的な計画策定には至っておらず、今後児童数の推移予測をはじめ、現施設の老朽度や本市の財政状況等も勘案しながら、新しい施設の規模や機能をはじめとするとする建替構想の立案や、課題の把握、整理に努めてまいりたいと考えています。



### ソーシャル・インパクト・ボンド (SIB)の導入について

**Q** SIBは英国で導入されて以来10年が経過、事業の成果が可視化され、各地でサービスの質の

向上や行政コストの削減につながっている。評価と今後の可能性を問う。

**A** 本市では、従前より市民サービスの向上や経費の削減を進めるため、民間活力の導入を実施しており、今後も産官学民の連携を踏まえた民間活力の導入を推進していきま。ソーシャル・インパクト・ボンドについても本市の方針と親和性が高いと考えられ、地域社会の課題解決に向けた効率的・効果的な手法ではないかと関心を持っているところです。

しかしながら、現在、本格的な導入事例が少なく、その評価が容易ではありません。また、事業者や投資者の確保が難しく、成果指標の設定や適正な評価も難しいという課題もあり、今後、国の動きを注視しつつ、他自治体の先行事例を見定め、導入について研究してまいります。



### 少子高齢化について

**Q** 子どもを増やす対策が必要ですが、市としての対策は？

**A** 平成28年度より少子化対策の取り組みを加速度的に進めています。産前産後の健診や乳児家庭全戸訪問、乳幼児健診等の利用促進、児童手当及び子ども医療費助成制度等による経済的負担感の軽減、地域子育て支援拠点事業、給食の無償化も実施したところです。また、出会いの機会創出事業や結婚新生活支援事業などを実施しています。

### アイスアリーナについて

**Q** 採算ベースとしてはどれぐらいの稼働率が必要ですか？

**A** 利用料及び貸靴収入として年間1億842万8千円を見込んでいます。このためには、専用貸出を除く一般滑走として、一日平均70人以上の来場が必要です。これは土日に合計490人以上の来場があれば、平日の来場がゼロでも採算が取れる計算となり、決して困難な数字ではありません。

長辻 幸治 議員

少子高齢化について  
アイスアリーナについて



## 議員研修会のお知らせ

**日時**：3月19日(木)午後1時～  
**場所**：議場  
**テーマ**：国際交流員のまなざし  
 ～日本で暮らして感じたこと～(予定)  
**講師**：バーサンフー オウンゲレルさん  
 (モンゴル国トウブ県)  
 趙 鑑(チョウ カン)さん  
 (中国四川省成都市新都区)  
 エマニュエル オチョラさん  
 (ウガンダ共和国グル市)

※傍聴席からの見学も大歓迎ですので、ご希望の方は当日直接R階の受付までお越しください。



## 議 会 豆 知 識

### 議員研修会

泉佐野市議会基本条例第16条の第1項では、「議会は、議員の政策形成能力その他議員としての資質の向上を図るため、議員研修会を開催するものとする。」  
 また、第2項では、「議員研修会は、広く各分野の専門家等を招き、年1回以上開催するものとする。」と規定されていますが、平成29年3月議会からは定例会毎に開催しています。

### 意見書・決議

3件の意見書を採択し、関係機関へ送付しました。

「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書  
 全会一致

(送付先) 内閣総理大臣・  
 国家公安委員長

令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書  
 全会一致

(送付先) 内閣総理大臣・  
 財務大臣・総務大臣・文部科学大臣・厚生労働大臣・  
 農林水産大臣・経済産業大臣・  
 国土交通大臣・環境大臣・  
 内閣官房長官・復興大臣・  
 国家公安委員長

CSF(豚コレラ)の早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書  
 全会一致  
 (送付先) 内閣総理大臣・  
 農林水産大臣

### 市議会を傍聴しませんか

市民の皆さんの身近な問題が話し合われます。

#### ◆3月定例会の日程表◆

3月 4日(水)	本会議	施政方針に対する質問
3月 5日(木)	本会議	
3月 6日(金)	本会議	
3月 9日(月)	総務産業委員会	
3月10日(火)	厚生文教委員会	
3月11日(水)	予算特別委員会	
3月12日(木)	予算特別委員会	
3月13日(金)	予算特別委員会	
3月16日(月)	予算特別委員会	
3月17日(火)	関空りんくうまちづくり特別委員会	
3月18日(水)	りんくう総合医療センター対策委員会	
3月19日(木)	行財政委員会	
3月23日(月)	本会議	
3月24日(火)	本会議	

※午前10時開会予定です。ただし、13日、17日につきましては、午後1時開会予定です。なお、日程は変更することがあります。  
 ※手話通訳をご希望される方は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

### 表紙の写真



11月27日、関空アイスアリーナのオープンに先駆けて内覧会が開催されました。国際大会規格のメインリンクのほか、カーリングレーン2面を備えるサブリンクなどが公開されました。また、12月25日にはオープニングセレモニーとエキシビションがおこなわれました。

### 市議会だより編集委員

委員長 高橋圭子  
 副委員長 新田輝彦  
 土原こずえ  
 向江英雄  
 福岡光秋  
 辻野隆成  
 中藤大助